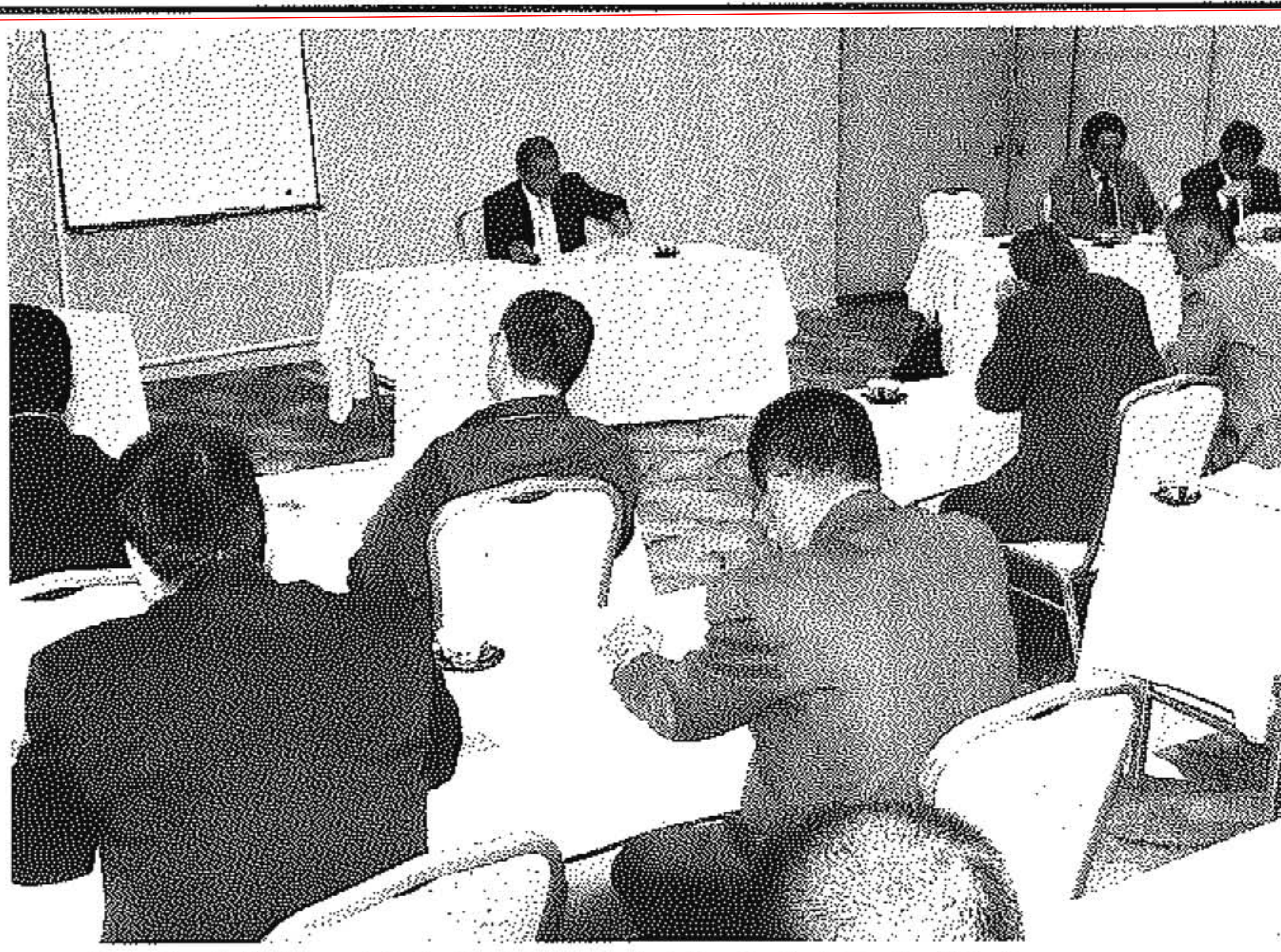


鹿児島市塗装業協組、設立総会

初代理事長に松岡氏

塗装業界発展に寄与

塗装工事業を専門とし、建設業法に基づく鹿児島市内の許可業者ら37社が、10日、新たな協同組合を設立。鹿児島市のパレスイン鹿児島で総会を開き、共同購買など事業計画を決めた設立総会＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で



共同購買など事業計画を決めた設立総会＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

名称を鹿児島市塗装業協同組合とし、設立発起人代表の松岡直光氏(株)松美研)が初代理事長に就任した。

設立発起人は、松岡氏のほかに、市坪孝志氏(株)市坪建築、上原充久氏(株)上原塗装、濱崎博文(有)濱崎工業)の4氏。ゼネコン同士の受注競争激化の中で、専門業者の取引条件や労務待遇の維持、改善などを目標に組合運営に当たる方針



松岡直光初代理事長

だ。議事では、組合員の取引条件について団体協約を締結する事業などを柱に事業計画などを決めた。また、収支予算案や組合定款などを承認。選挙で役員人事を決めた。

事業計画は、①共同購買②共同受注・受注の斡旋③共同検査④団体協約の締結⑤教育・情報の提供⑥組合員の福利厚生などを掲げている。

松岡理事長は「熟練技能者の定年と経年難による若手育成がおそろけになり、技能者不足が懸念される」と述べ、さらに「塗装業界発展に寄与していきたい」と抱負を語った。

役員は次の通り。
理事長＝松岡直光▽副理事長＝市坪孝志▽理事＝上原充久 新福輝男(新福塗装) 大平集一(有)大平塗装店) 有村衛(有)村建築)▽専務理

JIA鹿児島会総会

新代表幹事に蓑田氏

JIA(日本建築家協会)九州支部鹿児島会(上鶴眞一代表幹事)は9日、鹿児島市のブルーウェーブイン鹿児島で2008年度総会を開き、新年度事業計画などを決めた。また、任期満了に伴い、蓑田満康氏を新たに代表幹事とする人事案も承認した。

議事では、オープンデスク(大学生・工業高校生を対象にした事務所実習)や鹿児島建築展の開



蓑田満康新代表幹事

事＝濱崎博文▽監事＝森口清水(有)森口塗装) 坂業)



鹿児島建築展の開催などを柱とする事業計画を決めた総会＝鹿児島市のブルーウェーブイン鹿児島で

だ設計)は「建築展の開催などを通して広く活動を知ってもらうとともに、会員の皆さんとレベルアップできるように運営を目指したい」と抱負を語った。

川路建設が清掃ボランティア

桜並木がすっきり



剪定バサミなどを手にした参加者らは、周辺に生

い茂る雑草を手際よく刈り取り、ビニール袋に詰め込む姿が、あちこちで見受けられた。

また、作業の後は現地では花見大会も開催され、ビンゴゲームなどのレクリエーションで大いに盛り上がり、写真、春風が吹くさわやかな日に参加者らは楽しいひとときを過ごした。

岩下工務店が地域に貢献

生活道路の景観保つ

生活道路の景観を保つと、西之表市の(有)岩下工務店(若林昭雄社長)がこのほど、同市の市道市街地と阿木名地区11カ所で行った。作業は午前中いっぱい続けられ、終了後は見違えるようにきれいになった。

県産業廃棄物協会鹿児島支部総会

不法投棄の監視を

下田支部長選

県産業廃棄物協会鹿児島支部(下田勝幸支部長、119社)は10日、鹿児島市の城山観光ホテルで

不法投棄のパトロールなどを柱とする新年度事業計画を決めることにも、役員改選では下田支部長(株)鹿児島開発工業)以下、執行部全員の留任を決めた。

冒頭、下田支部長は「この美しい鹿児島を未来の子どもたちに残すため、われわれは適正処理を推進し、不法投棄を監視していかねばならない。経済状況は厳しさを増しているが、今こそ支部会が結束し乗り切っていく」と挨拶。

議事では、議長に末吉晴海副支部長(末吉建設)を選出。19年度事業

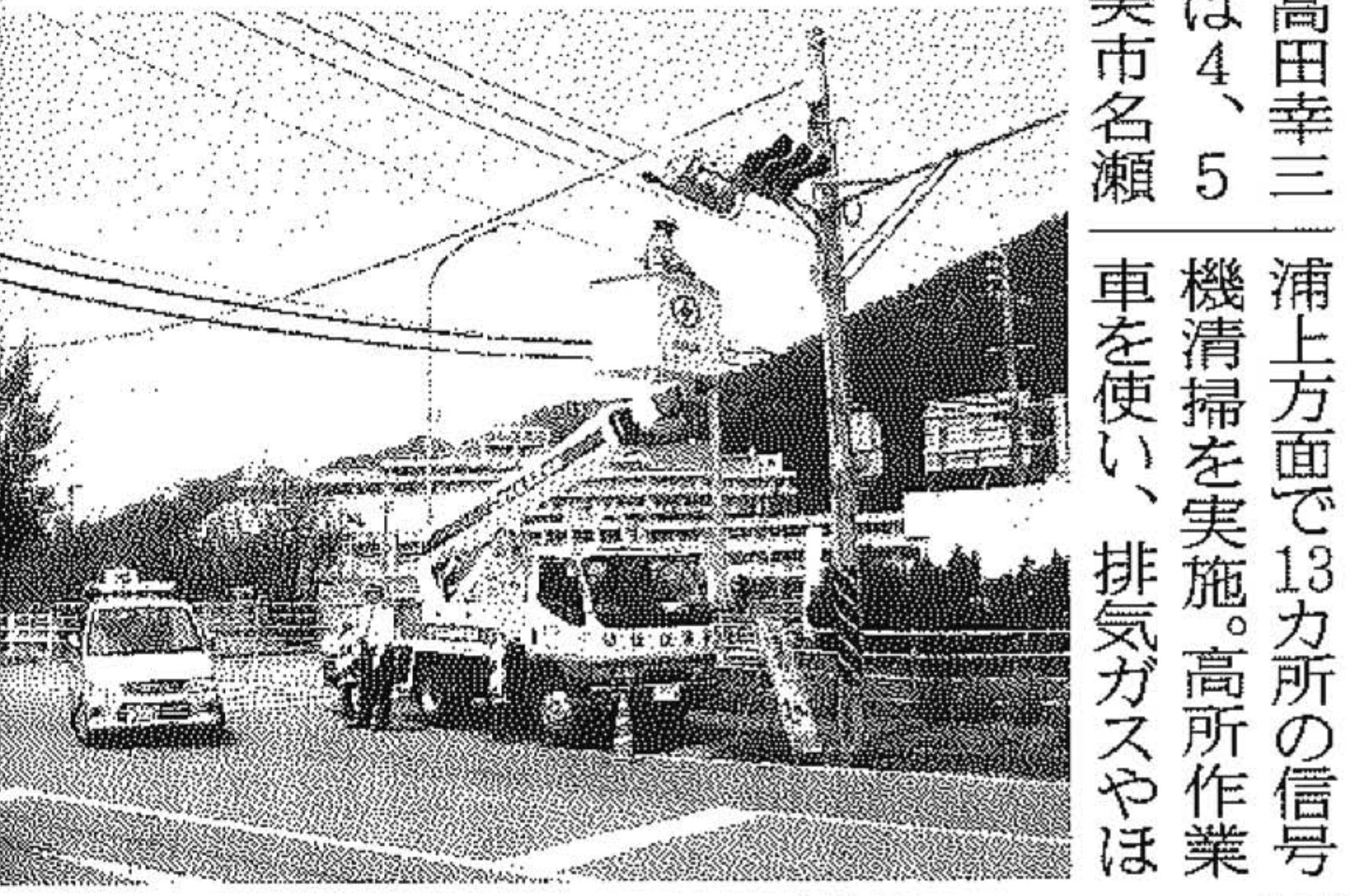
事業計画・収支予算案を原案通り可決承認した。新年度事業計画は、①

産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催②不法投棄・適正処理および安全管理パトロールの実施③行政機関との意見交換会の実施④協会および支部への加入促進⑤マニフェストの普及促進など。

新役員は次の通り。
支部長＝下田勝幸▽副支部長＝末吉晴海 三谷純夫(株)三純建設) 永田雄一(永田重機土木(株)▽理事＝野元一喜(株)ビルメン鹿児島) 斜木拓(斜木建設) 池平陽一(株)トレンディ開発運輸) 新留次雄(株)ヤクヤクリサイクル) 下田勝利(株)勝利商會)▽監事＝上村清俊(清輝建設) 吉丸安治(有)エコフロント西

高田電気が奉仕作業

2日間 信号機など清掃



高田電気(株)は4、5日の2日間、奄美市名瀬と瀬戸内町で信号機清掃の奉仕作業を実施した。作業は毎年年末に同作業を行ってきたが、今回は春の交通安全運動と入学式に合わせる形での実施となった。



4日は奄美市名瀬の朝に、平

高田電気(株)は4、5日の2日間、奄美市名瀬と瀬戸内町で信号機清掃の奉仕作業を実施した。作業は毎年年末に同作業を行ってきたが、今回は春の交通安全運動と入学式に合わせる形での実施となった。

高田社長は「地域貢献の一環として、日ごろからお世話になっている住民への恩返しということ、毎年のように行っている清掃活動が少しでも交通安全の役に立てればありがたい

こりなどで汚れたレンズや枠をきれいにふき取っていた。

5日は瀬戸内町古仁屋市街地と阿木名地区11カ所で行った。作業は午前中いっぱい続けられ、終了後は見違えるようにきれいになった。

若林社長は「年々ごみの量は減っているが、社員も地域住民への感謝の気持ちを含め、積極的に参加していただく。今後も、地元信頼される企業を目指しながらボランティア活動などの社会貢献活動に努めたい」